

審 議 経 過

NO.1

| | | | |
|----------|---|--|----|
| 会 議 名 | 令和2年度第2回小金井市児童館運営審議会 | | |
| 事務局(担当課) | 児童青少年課 | | |
| 開催日時 | 令和3年3月4日(木) 午前10時～12時 | | |
| 開催場所 | 上之原会館集会室AB | | |
| 出席者 | 委員 | 倉持委員、鈴木委員、北村委員、高橋委員、山田礼子委員、中川委員、木本委員 7名 | |
| | その他 | | |
| | 事務局 | 大澤子ども家庭部長、鈴木課長、前田係長、森主査、山田主任、鈴木主任、野村主事、星野会計年度任用職員、東児童館(横山マネージャー代理) | |
| 傍聴の可否 | 可 | 傍聴者数 | 2名 |
| 会議次第 | 1 開会 (館内見学:本町児童館) 2 議題 (1) 令和3年度小金井市児童館事業計画について (2) 児童館事業について ① 新型コロナウイルス感染症に伴う対応状況について ② その他 3 閉会 | | |
| 資料・配布物 | 資料6 | 令和3年度小金井市児童館事業計画等 | |
| | 資料7 | 新型コロナウイルス感染症に伴う対応状況 | |

| | |
|------|---|
| 倉持会長 | <p>皆さん、おはようございます。それでは、これから令和2年度第2回小金井市児童館運営審議会を始めたいと思います。</p> <p>先ほど話がありましたけれども、まだ緊急事態宣言期間中ということで、会議自体も久しぶりなんですけれども、年に何回もない会議ですので、このような形で開催をさせていただきました。さっき窓を開ける話なんかもありましたけれども、換気をしつつ、あまり長くないように、中身を濃く進めていきたいと思いますので、御協力どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議題に入る前に、施設の見学を実行していきたいと思っております。今日の会場は児童館ではないんですけれども、ような取組もありましたので、一番初めにいつもの形で見学に行きたいと思います。</p> <p>荷物は控室に置いていっていいでしょうか。御指示をお願いします。</p> |
| 前田係長 | <p>この後、外に出ていただいて、徒歩1分ぐらいに本町児童館がございますので、そちらの見学をコースとして含めさせていただきます。貴重品だけお持ちいただいて、あと、外に出るので、コートを羽織っていただいて、もう下にそのまま下りていただければ、本町児童館の職員が御案内いたしますので、各自よろしくお願いいたします。大きな荷物はこちらに置いていただいて構いませんので、よろしくお願いいたします。</p> |
| 倉持会長 | <p>では、どうぞよろしくお願いいたします。移動しましょう。</p> <p style="text-align: center;">(施設見学)</p> |
| 倉持会長 | <p>それでは、会議を再開したいと思います。今、本町児童館を見学させていただきましたけれども、何か御感想とか、改めて質問とか、御意見とかいかがでしょうか。初めて行った方もいらっしゃいましたけど、すいません、口火を切っていただいて、北村委員、お願いします。</p> |
| 北村委員 | <p>初めて本町児童館を見させていただいて、スペースはそんなに広くないながらも、特に一番最初に見せていただいた遊戯室なんかは、乳幼児が遊びやすく、すごく清潔に物もなく保たれていて感心いたしました。ほかのお部屋もスペースがないというのを工夫して、うまく子どもたちの目線に用具が来るようにとか、分かりやすく表記してあったりとかということで、工夫がされているなというので、すごく感心し</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>ました。</p> <p>子どもたちの作品をいろんなところにちりばめているけれども、すぐくすてきだなと思いましたし、早く調理器具を使って、子どもたちがここで活動できればいいなと思いました。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございます。せっかくなので、ぐるっと一言ずついきましょう。</p> |
| 中川委員 | <p>中川委員、お願いします。</p> <p>中川です。</p> <p>細かいところに気を遣っていらっしゃるというのをすごく感じました。赤ちゃんが遊んでいるスペースのサッシの穴に手が入らないようにとかいう工夫だとか、子どもたちが主体になって何かできるように先生がうまく導いてやっているんだなというのも、作品だとかいろんなものを見てすごく感じました。なので、工夫はとてもされているなど。狭いながらいろいろと先生たちが考えながらやっていらっしゃるというのは、とても思いました。</p> |
| 鈴木主任 | <p>1点だけ、外を変えられましたよね。あれはカーボンでしたっけ。</p> |
| 中川委員 | <p>はい。</p> <p>あれになって音はどうなんですか。子どもたちの声とか、今までのブロックと違って、あれをやって何か変化というのはあったんですか。</p> |
| 鈴木主任 | <p>本町児童館の鈴木と申します。</p> <p>音に関しては、特段近隣の方から何か意見が出たということはないので、コンクリートブロックのときと変わらずに児童館は運営しております。コンクリートブロックは倒壊の危険がありましたので、倒れても危険のないような素材になって、こちらとしては良かったと思っております。</p> |
| 中川委員 | <p>ありがとうございます。あともう一点、あそこでボールは使わないんですか。</p> |
| 鈴木主任 | <p>そうですね。ボールは近隣の塀を飛び越えて行きますので、使わせておりません。</p> |
| 中川委員 | <p>ありがとうございます。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございます。木本委員、お願いします。</p> |
| 木本委員 | <p>木本です。ありがとうございました。</p> <p>やはり皆様がおっしゃっていたように、スペースは狭いですけど</p> |

| | |
|-------------------------|--|
| <p>倉持会長 鈴木委員</p> | <p>も、きれいに整頓されていて使いやすそうだなということを印象に受けました。</p> <p>あと、高学年になると遊びが大きくなってきたりして、スペースがないと足りない場面が出てくると思うんですけど、それも卓球であったりとか、ビリヤードであったりとか、高学年でも楽しめるような遊びがあるのは、すごく魅力的だなと感じました。</p> <p>また、乳幼児のお母さん向けには、コロナ禍でどこに行ったらいいのか分からないだったり、不安だったりという中で児童館が開いてくださっていることは、すごく意義のあることだなと思っていましたので、これからもイベントなどでお母さんの支えになるようなことをしていただければいいなと思います。よろしくお願いします。</p> <p>ありがとうございます。では、鈴木委員、お願いします。</p> <p>鈴木順子です。ありがとうございました。</p> <p>私も皆さんと同じように、スペースがかなり限られているのかなと感じたんですけども、隅々まで清掃が行き届いているように感じられました。お手洗いなんかもさっと拝見しただけですけども、きれいに清掃されていて、子どもが使っていても気持ちいいのかなと思いました。</p> <p>乳幼児の遊戯室にも気遣いとかいうところも表れていて、掲示物が多くても、雑多のように見えてすごく整頓されているのかなと感じたので、気持ちよく利用できる児童館なんだなと感じました。</p> <p>以上です。</p> |
| <p>倉持会長 山田（礼）委員</p> | <p>ありがとうございます。では、山田委員、お願いします。</p> <p>山田礼子です。</p> <p>中庭に植木があったときは、子ども縁日のときに狭くて困っていたんですけども、今回、拝見したら、植木がなくなっていて、すごくすっきりして広がっていたので、よかったなと思いました。全体的にしばらく見ないうちにすっきり、きれいになったような気がしました。</p> |
| <p>倉持会長 高橋委員</p> | <p>ありがとうございます。高橋委員、お願いします。</p> <p>高橋です。</p> <p>非常に限られたスペースではありますが、大変有効に使っているなというのが第一印象でありました。</p> |

| | |
|------|---|
| 倉持会長 | <p>それと、小さいお子さんがおいでになっているということで、けが等ないようかなり細かいところまで気を配って配慮されているなど感じました。</p> <p>行ったときは2組の親子だったんですけど、帰りには4組ぐらいの親子が、非常にのんびりとしたくつろげる時間を過ごしているような感じで、ああいった居場所が、安心して子どもを担える居場所があるのは非常に貴重なことだなと感じました。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。コロナの影響が出てから初めて見学していることもあったので、換気扇が常に回っているとか、窓が少し開いているとか、消毒の様子なども見られて、こういう状況の中でも子どもたちが自由に遊べる場とか、居場所が確保されていることの重要性をすごく認識しつつ、それを管理する側の大変さということも少し感じました。今日、報告の中でも児童館のコロナウイルス感染症に対する対応状況を伺いますので、今日見学したことと併せて私たちでも少し考えられたらなと思います。どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、議題に入っていきたいと思いますが、まず、資料の確認を事務局からお願いします。</p> |
| 前田係長 | <p>事務局の前田です。</p> <p>それでは、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>まず、本日の次第1枚と、ホチキス留めのものが2部、資料6、令和3年度の事業計画一式と、資料7として、新型コロナウイルス感染症に伴う対応状況をまとめたものになります。また、参考資料といたしまして、3月の本町児童館のお便りを配付しております。小学生向けのものと乳幼児向けのもの、それと、青少健だより・花みずきを机上に配付させていただいております。本日、不足等ございましたら、お申しつけください。大丈夫ですか。</p> <p>資料の確認は以上です。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございました。では、資料はよろしいでしょうか。事前送付いただいた資料と、本日、机上配付されている補足資料ということになります。</p> <p>それでは、議題に入りたいと思います。まず、議題1、令和3年度小金井市児童館事業計画についてということで、では、御説明をよろ</p> |

| | |
|------|---|
| 森主査 | <p>しくお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、着座のまま失礼させていただきます。緑児童館の森です。よろしくお願いいたします。</p> <p>資料6の冒頭です。小金井市児童館運営基本方針、平成19年4月1日制定というものの資料です。読んでいただいていることを前提として簡単に御説明をさせていただきます。</p> <p>基本的には、平成19年に大きく文言を書き換えまして、このようなものになりました。それ以降、基本的には変わっておりません。乳幼児と保護者、小学生、中・高校生、それから、地域との関係ということで順に文言を散らせていただいておりますその後、国や都が定めた法令や指針を反映し、文言に加えるたびに「改訂」とさせていただいています。</p> <p>令和3年4月1日一部改訂については、基本的に例年どおり事業を実施するために事業計画、事業予定をたてましたが、やはり新型コロナウイルス感染拡大防止の対策については今後も継続し、今後どうなっていくのかは誰にもわかりません。よって、計画にコロナ関連の文言は触れないわけにはいかないのです、それを明記し、「一部改訂」とさせていただきました。</p> |
| 倉持会長 | <p>では、引き続いて、その先もよろしいでしょうか。</p> |
| 森主査 | <p>今、全体のところですね。</p> <p>はい。全体のところです。</p> <p>それから、その後、各児童館の事業計画に入りますが、まず、その前に小金井市児童館四館合同事業計画というのが2枚目にございます。これについては、児童館の運営基本方針を基にして、各児童館の事業と並行して四館が協力し合って合同で行う事業があります。</p> <p>年間での四館合同事業は大きなものとしては3つあります。1つは、毎月1回、武蔵野公園くじら山で行わせていただいております移動児童館わんぱく号、8月の後半に同じく武蔵野公園くじら山で、約1週間子どもたちたちを集めて野外事業を行うわんぱく団、それから、名称や内容はいくつか変えてきましたが、毎年11月に行ってきた児童館フェスティバルです。これについては、市の子どもの権利に関する条例の条文にも記されている、子どもたちの意見表明やそれを活かす施設の責任、に則り、子どもたちの意見を吸い上げながら、子どもた</p> |

ちと共に作りあげていく児童館の祭りです。

この3つが大きな事業は、コロナ禍の中で昨年度行うことができたのは、移動児童館のみで、これについても、いわゆる自粛明けの6月からはできず、9月から再開をさせていただきました。緊急事態宣言がまた1月に発令したことで1月の1か月間だけ中止になったんですけども、2月は公園の理解の下でまた再開をさせていただきました。あと今月1回ございます。

8月のわんぱく団は、毎年小学生80人くらい集めて、連日の炎天下の中で、小屋作りや野外調理を行い、最後はキャンプのように宿泊する事業です。これについてもいろいろ検討を重ねましたが、この事業は中止させていただきました。

それから、児童館フェスティバルについても、わんぱく団同様に中・高校生世代以上のボランティアも含め、多くの子どもたちがかかわり、さらに当日もたくさんの人を集めるイベントということで、例年のようなイベントを行うことは中止としました。このことについては、後ほど時間があれば御説明させていただきたいんですが、来週3月8日から、いわゆるインターネット環境を使いまして、オンライン脱出ゲームという計画予定しています。今、謎解きって流行っていますけれども、ああいうイメージで子どもたちとお題とか、いろんなクイズとか謎を考えまして、それをネットの中でたくさん子どもたちに解いてもらって、そこで最後に脱出できたらいいものがもらえるというものです。資料はもらいましたか。

頂いています。

それを御覧になっていただければと思います。これを児童館フェスティバルの代わりと言ってはなんですけれども、一応、代替事業と位置付けています。

一応この3点については、来年度どんな形でできるか分からないんですけど、できなかったものは少しでもできるように、縮小して行ってきたものについてはもう少し規模を膨らませてできるようにということで、こちらとしては切なる願いとしてあります。

それ以外については、基本的には文言として変わらないと思います。なので、それについては、また御質問をいただいたときにお答えさせていただきたいと思います。

倉持会長
森主査

| | |
|---------------------|--|
| 倉持会長 森主査 鈴木主任 | <p>それでは、順を追って各児童館の事業計画の説明ということでよろしいでしょうか。</p> <p>お願いします。では、本町児童館。</p> <p>それでは、担当者に交代いたしますので、よろしく願いいたします。</p> <p>本町児童館の鈴木と申します。</p> <p>本町児童館は令和2年度と同じように令和3年度もコロナ対策を最優先に考え、運営を図っていきたくて思っております。</p> <p>令和2年度との違いということで簡単に説明させていただきます。</p> <p>乳幼児に対する事業では、スペースが密とならないように部屋を何部屋か開放して、一度に密集した利用者を分散させるために、部屋を分けて利用しやすい環境を整えていきたくて思います。</p> <p>それから、父親の子育てへの参加を支援するための事業を毎月行いますが、平日とは一味違ったイベントで父親が参加しやすいように、このイベントに参加するために児童館に来てもらうという行事を考えていきたくて思います。</p> <p>小学生に対する事業についてです。低学年のグループ活動では例年24名のグループ参加者を募集しております。1部屋に24名だと密になりがちということで、今年度は時間を区切って12名ずつのグループで行いました。時間を区切ると既存の時間を半分に分けるので、利用者の保護者の方から時間が短いという言葉もありまして、令和3年度は週で分けたいと思います。隔週で12名ずつのグループを火曜日と金曜日に行いたくと思います。</p> <p>それから、小学生向けの卓球教室、それから、将棋教室等は、ボランティアの協力を引き続き得まして、来年度も行っていきたいと思っております。先ほど見学の際に申し上げましたが、遊戯室は部屋を半分ずつに分けて、卓球等の予約制のスペースと、それから、自由遊びのスペースに分けて、密を避けたいと思っております。</p> <p>中・高校生世代に対しては、オンラインでインターネットを活用して何か事業ができればと新しいことを考えております。</p> <p>それから、令和3年度の本町児童館の改修工事についてです。2階のほんちょう学童保育所のトイレが、今、男女同じ利用状況なのですが、それを男女別化するために予算計上しており、改修する予定が入</p> |
|---------------------|--|

| | |
|----------------------------|--|
| <p>倉持会長 横山マネージャー代理</p> | <p>っております。</p> <p>本町児童館としては以上になります。</p> <p>ありがとうございます。では、引き続き、東児童館、お願いします。</p> <p>東児童館の横山です。</p> <p>令和3年度の事業計画としては、特に新しい事業はありませんが、令和2年度のコロナの影響で行われなかったような事業はありましたが、少しずつ活動して行っていきたいと思います。</p> <p>例えば子育てひろばの講習会なども、今まで例年だとボランティアさんが保育をしてもらっていましたが、保育はできないので、子どもも母親と一緒に参加できるような工夫をして行っていくなど、離乳食など食べ物の講座は座学にするなどと考えております。幼児グループは、3年度は密にならないように配慮し、定員を決めて募集して行っていきたいと思います。</p> <p>小学生は、低学年グループは、密にならないように24人の募集を2グループに分け、隔週で火曜日と金曜日で行います。高学年グループも募集人数を決めて、料理を作る事業などは当面できませんので、子どもたちと相談して、工夫して行っていきたいと考えています。</p> <p>中・高校生は、今の状況だと泊まりの事業、外へ移動する事業などはできませんが、毎週水曜日行っている中・高生タイムも今のところ1月からの緊急事態宣言以降、ほとんど参加者がいないんですが、この先は解除により参加者が増えるようになりましたら、こういったことも働きかけていきたいと考えています。</p> <p>保護者の方からは、児童館が開館してくれてありがたいという声もありますので、児童館が居場所になっていることがよく分かりましたので、来年度も利用者の方々の希望に応えられるように、できることは工夫して行っていきたいと思います。</p> <p>なお、改修工事の予定として、東児童館に防球ネット、玄関のベビーカー置場の上の屋根、<u>街灯</u>の撤去などの予算が計上されます。</p> <p>以上です。</p> |
| <p>倉持会長 山田主任</p> | <p>ありがとうございました。では、貫井南、お願いします。</p> <p>貫井南児童館の山田です。よろしくお願いします。</p> <p>まず、訂正をお願いしたいんですけれども、貫井南児童館の事業予定一覧のところ、「令和2年度」と書いてあるんですけれども、令和</p> |

3年度の間違いでした。すみません、3ということで訂正をお願いいたします。

貫井南児童館でも本町児童館、東児童館同様、今年度も新型コロナウイルス感染防止ということで対策を行っていく予定ですので、事業予定にはいろいろ書いてあるんですけども、その都度その都度、どのようにしたら実現できるかを考えながら行っていきたいと思っております。

行事としては、なるべく少人数で、それで、宿泊や調理の行事はできない形で考えて計画を立てているようなところです。

あと、貫井南児童館の特徴としまして、中・高校生のバンドスタジオと、あと、夜間開館等というのがあるんですけども、バンドスタジオは、こちらには書いていないんですけども、今のところ人数を2人ということで絞って、時間を制限して実施させていただいています。ふだんでしたら、本当に五、六人入っていても構わないということなんですけれども、一応、市内在住、在学のお子さんを対象で2人ということで、4人グループのときには2人ずつで今使っているような状況です。それでも春休みや冬休みなど学校に行かないときには使えているので、それは継続していきたいと思っています。

あと、新規の事業として、中・高校生で、自転車で日帰りで遠足等を考えているんですけども、それも感染状況によっては難しいところもあるかもしれないんですけども、今、中学生、高校生は、文化祭も遠足もないとかいう中で、自分たちがやりたいことを自己実現できる場所がなくなっていますので、何とかコロナ禍でもできるような行事を1つ打ち出していきたいなと思って、職員で考えております。

あと、小学生のグループ活動とか行事についても、今もやっているとおり、少人数でできる範囲でやっていく形ですので、コロナ禍でも足を止めないように、なるべく子どもたちに意見を聞きながら実施していきたいと思っています。

あと、乳幼児の活動なんですけれども、乳幼児については、貫井南児童館は本当に人数が少ないんです。幼児グループとって2歳児のグループも少なかったの、少ないながらも集いとかイベントをして、なるべくこちらに足を向けていけるように、お母さんたちに意見を聞きながら行事をしていきたいと思っています。

倉持会長
森主査

以上です。

ありがとうございました。では、緑児童館、お願いします。

緑児童館の森です。

緑児童館の説明に関しては、事業計画よりもその後にある令和3年度の事業予定一覧を見ていただきたいと思います。

基本的な計画については、例年どおりですけれども、やはりどうしてもコロナ禍ということで、計画どおりにどれだけできるかについては、ほかの児童館と同じようにこれから考えていかなければなりません。ここに書かれている事業予定は、現在出来ていない食育関連、例えば会食や調理をともなうすべての事業は、年度当初からできないこととなります。よって、子育てひろば事業で行って来た、離乳食講習会でもこれまで行って来た調理実習は行なわずに、講師の話を聞いて質問や相談をする「座学」に特化しています。

それから、やはり多くの人たちが集まることについては、特に大人と子どもを合わせてしまうとかなりの人数になるので、上から4つ目、アイテム交換会といった不用品の交換というのも今のところできていません。行えなかった間、(寄付したいと)持ってくる人がかなり多くて、それを譲れない状況になってしまったので、今、館内が乳幼児のグッズであふれ返ってしまっていて、今もらうのは控えてますが、来年度は5月ぐらいから再開する予定です。

あとは、グループ活動については今年度も例年よりも人数を減らして行う予定ですが、大きな違いというか、今年やってみて感じたのは、特に水曜日が小学生の自由来館がとても多くて、50人以上になることも多くあります。それに対し、合わせて10人くらいの高学年グループを2つにして活動していますが、それぞれに職員1人ずつが担当で入っています。職員は3人体制なので、グループ活動がある間、1人で多くの自由来館児童の対応をしなくてはならないのは安全面でもよいとは言えないと判断しました。よって、来年度はグループはコンパクト化し1つにして職員も1名で対応する予定です。

コロナ禍での子どもたちの生活については、この後、説明する機会があると思いますが、元々水曜日は下校時間も早く小学生の来館数も多く、今年度は特に水曜日に集中した感じがあり、その日に事業を入れることについては課題としていました。

あと、ロビンソンクラブというのが下から3番目にあります。これは開館当初から幼稚園世代の保護者からの要望で、子どもたちが幼児グループを終え、幼稚園に行くと、親子で児童館に関わる機会がなくなるということが非常に残念で、地域で何かしたいということも相まって、保護者が工作などの指導に入る形で30年以上継続して行ってきました。

ただ、やはり、地域や家庭も年々様変わりしてきて、未就学児対象の活動で言えば、子育てひろば事業はどの児童館も多くの利用や参加がありますが、幼稚園よりも保育園に通う子どもたちが増え、保護者（母親）も就労のために日中家にいない家庭が増えていく中で、2歳児以上を対象とした「幼児グループ」への参加も20年前と比べて半分以下になってきています。こうしたことは「学童保育所の大規模化」という市の課題を見てもわかるように、保護者が平日家にいるという生活スタイルも変化したことで、保護者が子どもと一緒に活動したい、というニーズにも薄れ、ボランティアの担い手もどんどん減ってきました。

コロナ禍で活動自体が中断したことがきっかけという訳ではありませんが、これまでの保護者からのニーズに応じて来たという事業主旨に一区切りをつけまして、来年度からは「ロビンソンクラブ」という名称は残しながらも、職員主導で工作や遊びを提供する事業に変えることにしました。対象は少人数ですが幼児も含むので、引率してくれた保護者との関係をつくらことも大事にしていきたいと思います。

幼児から小学生に読み聞かせをしてきたおはなしのとびらというのがあります。読み聞かせなどの図書活動は児童館にとっても重要な事業で、ボランティアの人たちにつき2回程度お願いして行ってきました。ですが、コロナ禍で活動を自粛したいと申し出があり、来年度も引き続きその状況は続くので、どうしようと課題としています。

次にこれは児童館全体的なことですがボランティアについては中・高校生世代も必要としていますが、大学生や大人の受け入れについても現在課題としています。緑児童館の事業から外れますが、貫井南児童館や東児童館では夜間開館をやっていて、そこには中高生世代だけではなくて大人のボランティアなんかも参加してくれて、若者同士の交流が盛んにされてきました。現在利用者だけでなく、このボラ

| | |
|-------------|--|
| <p>倉持会長</p> | <p>ンティア数も減らさなくてはならない、一つの事業で1人とか2人になっています。そうなった場合、夏の大きな行事である「夏期クラブ」「わんぱく団」については、計画には載せましたが、仮に参加者を減らして実施を検討しても、1人2人のボランティア数ということも実施に重くのしかかってしまいます。</p> <p>児童館に限ったことではありませんが、いずれにせよ、このコロナ禍という状況が早く良くなることを願うばかりです。</p> <p>すみません、以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今年度の事業については後ほど議題の2のほうで御報告がありますので、まずは議題の1、来年度、令和3年度の事業計画について、御質問や御意見等ありましたら、委員の皆さんからどうぞよろしく願います。いかがでしょうか。</p> <p>中川委員、お願いします。</p> |
| <p>中川委員</p> | <p>中川です。</p> <p>事業計画のほうです。今回のコロナで変更することがとても多くて、先生方もすごく工夫されていると思うんです。いろいろな経験をお持ちなので、いろいろな部分でカバーされたりすると思うんですが、やはり調理とかそういうのは、見通しが今の時点でも立たないので、今年度もそうだったと思うんですけれども、それに代わる内容というもので、こういう内容をしたよとか、逆に令和3年度で調理に代わるのでこういう内容を予定していますというお話を聞かせていただければありがたいです。</p> |
| <p>倉持会長</p> | <p>月曜日とか水曜日とか、それぞれの学年によってクラブ活動があると思うんですけれども、その部分で調理をメインとしていたというのをよく聞いていたので、それをどういうふうに変えてされるのかなという。今の時点で調理ができないというのは大体予測できるので、何か考えていらっしゃるかなと思ひまして、質問させていただきました。</p> <p>ありがとうございます。では、どの館でも結構です。</p> |
| <p>森主査</p> | <p>緑児童館の森です。まず、グループ活動ということでよろしいでしょうか。</p> |
| <p>中川委員</p> | <p>はい。</p> |

| | |
|---------|--|
| 森主査 | <p>低学年グループに関しては、まず、参加者総数を減らしたというふうに思うかもしれないんですが、説明すると、例年どこの児童館でも各曜日24人くらいが定員です。今年度の場合24人で受け付けていたものを、スタート前にどの曜日も2つに分け、12人程度のグループを作り、それぞれ隔週で活動しました。よって、減ったのは参加者数ではなく、1人についての活動回数約半分になったことです。次に活動内容が料理中心とおっしゃられましたが、料理は月4回あったとしてそのうち1回程度です。ですが、子どもたちには人気のメニューだし、1回でもできないのは大きな痛手ではあります。</p> <p>それ以外にレクリエーションごとにも、ゲーム的なことでわーっと騒いだりとか、景品におやつを出したりとかということができないので、そういうことができなくなったというのもあります。ですが少人数化したとしても、これまでも工作を基本としていたので、低学年グループに関してはそれほど変化大きな変化はないかと思います。あとは高学年グループに関しても同じで、手芸とか、男の子よりも女の子のほうが増えているのかなというのはちょっとあるんですけども、そういうものをやりながらですので、そういう中でも工夫はもちろんございましてけれども、全く別なことをやっていこうというよりも、今までいろいろやってきた中での工作とかクラフトを中心にやってくということですよ。</p> <p>高学年グループに関しても、緑児童館は女子ばかりになってしまいましたが、手芸を中心にこれまで通りやっています。</p> <p>どちらも全く新しいものになったというよりも、今までやってきた中でできることを行っているということになります。</p> |
| 中川委員 | ありがとうございます。 |
| 倉持会長 | よろしいでしょうか。 |
| 中川委員 | はい。 |
| 倉持会長 | ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。山田委員、お願いします。 |
| 山田（礼）委員 | <p>山田です。</p> <p>オンライン脱出ゲームというのをやるということですけども、このチラシに書いてあるように、オンライン環境がない人は、各児童館に来館してください。問題冊子を用意していますというのが、オンラ</p> |

| | |
|------------|--|
| | <p>インができないお子さんに対して心配りを感じていいなと思いました。</p> <p>あと、質問なんですけれども、東児童館なんですけど、専門相談として、子育て相談、思春期相談を各1回、3枠行いますというふうになっているんですが、その利用状況というのは、今コロナ禍で悩んでいるお母さんたちが増えていると聞いたんですけれども、結構3枠というのはすぐ埋まってしまっている状況なのかということと、臨床心理士さんが加わる専門相談というのは、東児童館以外は入っていないんですが、ほかの児童館では今後、そういうのが増える予定というのはいないのでしょうか。</p> |
| 倉持会長 | では、まず、東児童館から回答いただけますか。 |
| 森主査 | その前に、すみません。東児童館は委託事業でして、専門相談については市のほうから委託しているということもありますので、専門相談事業の回答については市のほうからさせていただいてよろしいでしょうか。日常的な専門相談の応募というか人数とかについては、直接職員のほうから説明させていただきます。 |
| 横山マネージャー代理 | 東児童館、横山です。 |
| | <p>利用状況ですね。専門相談の思春期相談のほうは3枠あります。思春期相談は毎回3枠埋まっている状況です。</p> <p>子育て相談も3枠になっていますが、こちらは比較的すいています。そのようなときは、子育て相談で先生がいらして相談が入っていないときには、先生が児童館のほうに顔を出して、お母様方の悩みを聞いたりということもしております。</p> |
| | 以上です。 |
| 鈴木課長 | 児童青少年課長です。 |
| | <p>東児童館委託の際に、サービス内容の向上という部分もありまして、専門相談を入れていくというふうな状況がありましたので、直営とは違う取組を行っているという状況でやっていますので、今後増やしていくかというところでは、今、直営はやっている内容で、どこまでお話しできるかなというところがあるんですけれども、仮にほかのところでもまた委託をする際には、サービス向上の面でということでは、こういったところをまた増やしていくかということにはなるかなと思いますけれども、今すぐ直営のところに入れていくかというところでは、</p> |

| | |
|---------|---|
| 倉持会長 | 今のところはまだ予定はしておりません。 |
| 森主査 | 以上です。 |
| | <p>ありがとうございます。</p> <p>緑児童館の森です。今の件について補足をさせてください。</p> <p>市の中で専門相談を行っているのは児童館だけではなく、基本的に中心となっているのは発達支援センターです。それから、子ども家庭支援センターでも相談事業を行っていますので、市全体としてはそれなりの充実した相談機能になっていると認識はしておりますので、よろしく願いいたします。</p> |
| 山田（礼）委員 | ありがとうございます。 |
| 倉持会長 | ありがとうございます。 |
| 木本委員 | <p>そのほかいかがでしょうか。木本委員、どうぞ。</p> <p>木本です。</p> |
| | <p>すみません。今のことに関してなんですけれども、東児童館以外の児童館に関わっている市民とかは、悩みとかがあったときに、児童館が察してというか感じて相談につなげるとか、そういうことが今できている状況なのでしょうか。発達支援センターとかにそういう相談枠があるというのは今、説明していただいたんですけれども、児童館に来ていたりとかの人たちが相談につながるような事例とか件数とかはあるのか、お伺いしたいです。</p> |
| 倉持会長 | お願いします。 |
| 森主査 | <p>緑児童館、森です。</p> <p>各機関と児童館がつながっているかということ、利用者はずしてつながることは行政のルールとしてありませんが、件数はわかりませんが、児童館が何か専門機関を紹介したということにつながったということはあります。</p> <p>児童館の相談で基本的に多いのは、軽度の相談というか、保護者が顔見知りになってある程度信頼関係ができた職員に雑談の中で自然と悩みなどを話すということです。また、各児童館では健康や食事に関する様々な相談会を年間で不定期ですが行っています。どちらも、何気ない会話の中から重要な問題があることが伺えたり、逆に利用者からどこに相談に行けばいいか、という相談を受けることもあります。</p> |

| | |
|------|--|
| 倉持会長 | <p>そういう意味での「つなげる」ということです。</p> <p>ありがとうございます。基本方針の中でも、4番のところに、地域や関係機関との連携した取組ということで、児童館と他機関、あるいは各種の団体との連携というのは重要な柱になっていると思います。改めて確認いただきましてありがとうございます。</p> <p>そのほかはいかがでしょうか。どうぞ、中川委員。</p> |
| 中川委員 | <p>中川です。</p> <p>今の相談つながりで、ちょっとお聞きしたいことがありまして、昨年度6月から児童館も再開されたと思うんですけども、そこに来られるお子さんもそうですけれども、親御さんとかで、何か変化というか、そういうもので感じられたことがありますか。ずっと学校もお休みだったり、お子さん連れのお母様も外に出たくても出られなかったという状況で、児童館が開くことによって外に出ることで、心の変化ですとか、ストレスとかもいろいろ抱えていたと思うんですね。そういうのを先生方のほうで感じられることがありましたでしょうか。お聞きしたいです。</p> |
| 倉持会長 | <p>どうぞ、お願いします。</p> |
| 森主査 | <p>すみません、毎回。緑児童館の森です。</p> <p>変化についてはありましたとしか言いようがないのですが、具体的にと言われても個人的なこともありますので難しいのですが、やっぱり保護者の方たちも、子どもたちも同じように自粛をしてきたというのがあるので、1つでも児童館が開いたということが生活の中の変化につながったということで、非常にありがたいというなお話はよく聞かれます。もっとも、逆に、それでも児童館とかには来るのを控えている方もいらっしゃるというのも事実だと思います。</p> <p>保護者の悩みについてに戻りますが、専門相談のほうが増えたということでは多分なかったとは思いますが、行き場が増えたということでの変化はあったと思いますが、それを私は肯定的に捉えています。小学生については前回の審議会でもお話させていただきましたが、子どもたちなりのストレスというのはあったのかなというのは児童館で感じていて、おとなしいと思っていた子がいきなり大声を上げるとかというのは、昨年6月の開館再開当初よくありました。大声だけでなくマスクをの着用も最初は外して注意させる子どもが多かったです</p> |

| | |
|------|---|
| 中川委員 | <p>し、狭い範囲で奇声を上げて暴れまわる子どもも多かったです。それを思えば最近はかなり落ち着いてきたことはどこの児童館も同じだと思います。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございます。ほかの館で何かここはというのがあれば、ないですか。</p> <p>ありがとうございます。日常の活動の中では、もちろん日々、対応というのが、後ほど議題の2のほうでも対応状況は報告いただきますので、まず、次年度の事業計画についてを確認したいと思うんですけども、私のほうからも質問というか確認なんですけれども、4館合同事業、それから各館の事業、いずれについても、事業数を大きく削減するとか、事業規模を大きく削減するというのではなくて、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しつつ、事業はこれまでどおりに行っていくという原則方針だということによって理解してよろしいということでしょうか。</p> |
| 鈴木課長 | <p>先ほど調理の問題とか、ボランティアの問題とか、参加人数の問題とか、活動日の問題、隔週にやったりということの工夫についても報告いただいたと思うんですけども、しかし、事業そのものを何か削ったりとか、もちろんコロナの状況でできないということはあるんですけども、それに代わる代替の活動を考えたり、あるいは人数制限をしたりということで、原則はこれまでどおりというか、これまでというのがいつというのはあるんですけども、実施していくという理解でいいんでしょうかね。</p> |
| 倉持会長 | <p>児童青少年課長です。</p> <p>おっしゃるとおりで、計画のほうは例年どおり上げさせていただいております。コロナ禍の状況でどういうふうになるかというところはございますけれども、目指すところはコロナ発生前の状況に戻していきたいという考えがありますので、計画のほうはこのようにさせていただいております。</p> <p>以上です。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございます。実際は、感染状況が拡大したら、事業を幾つか中止したり、変更したりということはあると思うんですけども、現行の計画の時点では、開館するとか事業を行うということについて、実施の努力をしていくということによって理解しましたので、今の議論の中</p> |

| | |
|--------------|---|
| | <p>身にもありましたけれども、子どもや地域の保護者たちにとっての重要な活動や居場所になっているということなので、大変なところはたくさんあると思うんですけども、実施を推進していくとことのでいただければと思います。</p> <p>皆さんのほうもそのような形で、実際にはコロナの状況によって柔軟に対応していただきつつ、御提案された計画どおりに実施するということ御承認というかお認めいただくということよろしいでしょうか。</p> <p>今、「うん」ということでいいですよ。手とか挙げなくていいですよ。挙げますか。異議なしとかやったほうがいいですか。</p> |
| 前田係長 倉持会長 | <p>大丈夫です。確認いたしました。</p> <p>では、御承認いただいたということで、次年度も引き続き、運営についてどうぞよろしく願いいたします。</p> |
| 森主査 | <p>それでは、議題の2番に入りたいと思います。児童館事業についてということで、新型コロナウイルス感染症に伴う対応状況について、事務局より御報告をお願いいたします。</p> |
| 前田係長 | <p>緑児童館の森です。</p> <p>資料7、新型コロナウイルス感染症に伴う対応状況、第1回審議会報告後ということなので、前回の審議会のほうでも6月以後だったので、報告という形で児童館の様子とかは説明させていただいております。</p> <p>ここに書いています最初の運営委託関係、これは担当の方から説明します。</p> |
| 前田係長 | <p>事務局の前田です。1ページ目、御説明させていただきます。</p> <p>まず、第1回の審議会、7月に開催をさせていただいて、その前に児童館を再開するためのガイドラインとか、そういったものを御確認いただいていたかと思います。その後、8月から1月までの間の動きについてまとめさせていただきました。</p> <p>主なところですと、丸の2つ目、市外の施設、令和2年の12月10日に併設学童の児童で陽性者が判明しまして、東児童館を館内消毒と保健所調査の協力のために当日の午後から合計2.5日間、臨時休館とさせていただきます。ここでは、東児童館での濃厚接触者はいなかったという判断がありまして、翌日が日曜日だったんですけども、</p> |

森主査

14日から再開という形を取らせていただいております。

それと、丸の3つ目、今現在も続いておりますが、緊急事態宣言が1月7日から再発令されております。この関係で、夜間開館事業を縮小しております。夜間8時以降の外出禁止というものが発令段階では強く要請されていたことを受け、利用している子どもたちが8時までには自宅に着けるようにという配慮から、夜間開館、東児童館の水曜日と貫井南児童館の金曜日につきましては、午後8時まで開館していたものを午後7時までに短縮しております。今後、緊急事態宣言がまた2週間延長というようなお話もニュースでちらほら出ているところですが、それが出た場合には、引き続き、その期間については午後7時までを予定しております。

ここから先は引き継ぎます。

今日、新たに本町児童館のたよりを2枚配らせていただいております。この裏を見ていただければ分かると思います。児童館の開館に伴う新型コロナウイルス感染拡大防止における対策についての市民、利用者に対する周知で、子育てひろばのほうと小学生以上の対応とに分けています。

小学生の自由来館について、本町児童館は元々遊び場としてのニーズが高く、小学生以上の利用が非常に多くありました。他の児童館でもそうですが、特に下校時間の早い水曜日の来館者数は他の曜日に比べて一段と増えました。それでも、本町小学校の校庭開放や放課後子ども事業が始まってからは、子どもたちの遊び場が増えたことで、来館者数も少し落ち着きを見せていました。

ですが、コロナ禍でそういった地域事業が中止になってからは、また児童館に子どもが集中してしまい、水曜日などは非常に密が高くなる危険がありました。それで、水曜日だけですが、職員の方で対策をとり、小学校4年生までは午後4時まで、それ以上は午後4時からというように学年で利用時間を区切らせてもらいました。詳しい状況は本町児童館職員に直接質問していただきたいのですが、現在も継続していますが、特に混乱するようなことはこれまでなかったと聞いています。

それから、同じく小学生の利用で、おやつについては「自分で食べる分は持って来ていい」としていましたが、感染がまた広がりを見せ

始めた11月から12月ごろに、職員の中でも議論になり、結論としては、全面禁止としました。理由は食べるとなるとマスクを外すこと、自分だけとしていても、子どもたちなのでどうしても人にあげたり会食のようになってしまう、ということです。12月19日から始め、現在も計測中です。

6月からの利用状況について令和元年度との比較ですが、再開後の6月から10月の利用状況は、全体としては、前年度に比べて大体35%減ということですが、令和元年度と違い、行事の数も定員数も減らしましたし、グループ活動も、先ほど言いましたが、定員は同じであったとしても、隔週で活動することによって1日の人数を減らしたりもしているので、人数は確かに減ってはいます。ですが単純に遊びに来た子どもたちの数については、それだけの数値は出せないのかわかりませんが、減ってしまったとは言いきれない状況です。

児童館によっては、確かに水曜日はもっと多かったとか、平日としては減っているようだとかあると思います。ですが、子育てひろばについても開設日はどの児童館でもそれなりの利用があるし、繰り返して言うと、小学生以上の利用も毎日あります。細かい内容については各児童館職員に質問をしていただければと思います。緑児童館で言えば、今まで来ていなかったような子どもたち、例えば緑児童館はそれまでどちらかと言うと男の子が多かったです。男の子たちが自分たちで好きな遊びを賑やかにしていくみたいなイメージだったんですけれども、今年度は低学年の女の子たちとか、どちらかというとおとなしく遊ぶ子どもたちとか、職員に遊び相手を求めてくる子どもたちが物すごく増えていて、その相手がすごく大変と言ったら語弊がありますが、その対応が大きな仕事になってしまいました。

だから、本当に遊び場として遊びに来て、自分たちで好きに遊んで帰っていくという子どもたちよりも、職員にわーっと寄ってきて職員に遊んでもらってそれで帰っていくみたいな、そういった子どもたちがこのコロナ禍で増えてきたことは、いいか悪いかは別にして、大きな変化だと感じています。

なので、人数的なことというのは、減ったとか増えたとかというのは言うのは簡単なんですけれども、その中でいろいろな変化の方が重要だと考えています。

| | |
|-------------|--|
| 倉持会長 | <p>ということなので、人数というのは、分析するといろいろ見えることはあるのかなと思います。少なくとも、中学生、高校生は減ったかなというのはちょっとありますけれども。</p> <p>では、また、御質問のほうに回させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今、御説明のありました今年度の新型コロナウイルス感染症に伴う対応についても結構ですし、それに関わって来年度以降の児童館の在り方ということに関する御意見でも結構ですので、それでは、委員の皆さんから少し御意見や、あるいは御質問等を伺いたいと思います。いかがでしょうか。</p> |
| 木本委員 | <p>木本委員、どうぞ。</p> <p>木本です。先ほど、利用者数のことも御説明いただいたと思うんですけども、私の家の子どもも東児童館のほうで大変お世話になっているんですが、自由来館の際に東児童館は人数制限であったりとか、時間制限というのを結構長い間やっていたような印象がありまして、その時間制限、人数制限についての詳しい、いつまでやっていたのかとかがちょっと私、親なんですけど、把握していなかったのも、ほかの児童館さんと同じタイミングであったのかとか、どこの児童館はちょっと早かったとか、そういうのも来館数に影響しているのかなと思うので、それぞれの館にお伺いしたいです。</p> |
| 倉持会長 森主査 | <p>お願いします。</p> <p>緑児童館の森です。小学生以上の来館についてきちんと広報で、時間制限をしていることを知らせているのは本町児童館だけなんです。基本的に、増えたとき、状況によってそこで臨機応変に対応するというのはどこの児童館でもやっているのも、恐らく東児童館できちんと時間を決めたとか、日程を決めてこの期間は人数制限をしますというふうに打ち出したことは多分ないと思います。それは例えば今日は多かったから早く来た子は帰ってねと言われたとか、多分そういうことだと思います。緑児童館に関しても、今まで一番多かったので80人超えというのが1回だけありましたけれども、そのときはさすがに早い時間から来ていた低学年の子どもたちを早く返しました。</p> <p>逆に子どもたちが判断して、今日は多くて場所がなそうだから帰る、ということもあります。できるだけ、子どもたちとやり取りというか、</p> |

| | |
|------------|--|
| 木本委員 | <p>時間で部屋を交代させたり、うまく部屋を分けたり移動させたり、臨機応変にやっていますので、必ずしも1時間しか使えない、というアナウンスは子どもはもちろん保護者に対してもしていません。</p> <p>木本です。私の認識とすごくずれがあるような気がするんですけど、東児童館、いかがでしょうか。</p> |
| 横山マネージャー代理 | <p>東児童館の横山です。まだコロナで閉館、6月段階で再開館して、その頃にはどのように小学生を、人数が来て、どのような遊びをしているのかちょっと把握できなかつた頃に、人数制限というか時間ですね、やっぱり制限したりもあつたんですが、どのタイミングでというのは、様子を見て、落ち着いてきた、小学生も落ち着いているしというときにそういうことはやっていました。ちょっとすみませんが、何月というのは記録してはいません。</p> <p>子育てひろばのほうもいろんな方々に利用していただきたいということもありましたので、部屋の人数を決めたりとか、時間も決めたりということは、それは今もまだやっています。</p> |
| 木本委員 | <p>ありがとうございました。では、特に児童館全体で制限しようとか、そういう形だったわけではないということによろしいですか。</p> |
| 森主査 | <p>緑児童館、森です。このたよりに記載している9番については、その日の状況によって児童館職員の判断もありますが、例えば、静かに本を読むような子どもたちだけならこのぐらいの人数は大丈夫だけど、ボール遊びしたいような子たちがたくさん来たりとかすれば、人数を分けたり、この遊びはやめさせることはあります。緑児童館でもそうですが、遊戯室は一番子どもたちが思いっきり遊べる部屋なので、その日の遊び方で人数の調整は時々します。繰り返しますが、部屋大きさに対しての人数や遊び方の問題なので、何に対しても時間制限はしていません。</p> |
| 木本委員 | <p>ありがとうございます。じゃ、この集計表というのはもうそれぞれの館の方の裁量によって人数が変わった……。</p> |
| 森主査 | <p>集計表ですか。</p> |
| 木本委員 | <p>集計表とか人数の、来館数は……、集計表というか来館数は、その采配によって若干前後があつた可能性はあるということになりますか。</p> |
| 森主査 | <p>ちょっとおっしゃっている質問に沿った答えかどうか分からないん</p> |

| | |
|------|--|
| 木本委員 | <p>ですけれども、来館者数は来館者数なので、ここにもありますが、その日の来館者数は必ず受付でチェックします。受付で通した人数は、そのまま毎月の来館者数の集計に反映されます。それはどこの児童館も同じで、多かったから前後するとかという話にはならないので。</p> <p>すいません、ちょっと言い方が。来館したかったけど、多くてできなかった子がいる可能性はあるということ……。</p> |
| 森主査 | <p>(質問の意味について)わかりました。たしかに、来たけれど入館しないで帰った子どもたちはいると思います。ですが、基本的に来館者数は受付を通過して遊んだ子どもたちの数です。さすがに玄関にも入らずに帰った子どもたちの数までは把握できていません。</p> <p>ですが把握できていないとしても、今日は人数が多くては入れないから帰らせた、というのは緑児童館でもありませんし、他の児童館でも前述のような本町児童館の水曜日以外では聞いたことはありません。</p> <p>それ以外では、消毒時間中に来て「まだ入れないよ」とか「〇〇時から来てね」というのはあります。ですが、待てないで帰った子どもたちについては来館者数外なので、何人いたかということも把握していません。</p> |
| 木本委員 | <p>わかりました。遊んだ人が来館者数としてカウントされているということですね。</p> |
| 森主査 | <p>そうです、はい。</p> |
| 木本委員 | <p>はい、わかりました。ありがとうございます。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>そのほか、いかがでしょうか。</p> <p>中川委員、どうぞ。</p> |
| 中川委員 | <p>中川です。来館する子どもたちのスタイルっていろいろとあると思うんですけど、やっぱり高学年はグループで来館することが多いと思うんですけど、低学年って結構1人で来館している子どもが多いと思うんです。そういう中で、先生方がその1人で来る子たちに何か声かけとか、うまくみんなと遊べるようなそういう働きかけとかはされていますか。やっぱり、コロナで今まで来なかった子もいたりするのかなと思ったので、どういう感じで先生たちが接しているのか、ちょっとお聞きしたいです。</p> |

| | |
|------|---|
| 森主査 | <p>緑児童館の森です。1人1人に対応しているかと言われたら、当然ですとしか言いようがないです。それはコロナ関係ないので、基本的に1人で来た子どもたちがいたらそれは気にはしますし、もちろん、好きで1人で本を読みたいんだといったらそれは別にいいんですけれども、何をしているのか分からない子だったら声をかけて、一緒に何かやるとかというのは当然やっています。</p> <p>だから、コロナになってそういう子が増えたかといったら、ちょっとそこは微妙だと思います。いつの時代も1人でふらっと来る子は必ずいます。</p> <p>本町児童館のほうは。</p> |
| 鈴木主任 | <p>本町児童館の鈴木と申します。本町児童館でも、1人で来た子どもに対して、最初は職員と一緒に入ってどこかのグループや、1人ずつの子とかをまとめてゲームを始めるといような働きかけを行います。頃合いを見て抜けると、そこで1つグループができるというように子ども同士を、知らない子ども同士でも遊べるように工夫します。何かトラブルが起きているな、と思ったらすぐ行きますし、職員側も気を付けて、1人にならないようにグループを作って遊んでおります。</p> <p>以上です。</p> |
| 中川委員 | ありがとうございます。 |
| 倉持会長 | ありがとうございます。 そのほかにはいかがでしょうか。 どうぞ、北村委員。 |
| 北村委員 | <p>北村です。今日の運営基本方針の中にもお父さんたちの活躍というのがすごく目立つというか、入ってきたなと思っていまして、児童館じゃなくて、すみません、学童のお父さんたちがすごく活躍されていて、4年生で卒業するときに、この後どうしよう、学童ロスというような話を、子どもたちと関わって、子どもたちと一緒にお父さんが楽しむことにお父さんたちが楽しみを覚えていて、学童がなくなったら、さあ何しようというような話がちょっと聞こえてきたりするんです。</p> <p>この児童館の中でもそういうお父さんのグループみたいなのが出てきているので、先ほど、お母さんのボランティアが減ってきてというようにお話がありましたけれども、その辺のお父さんが活躍、児童館に通う必要がなくなったお子さんのいるお父さんが活躍する場みたい</p> |

| | |
|------|--|
| 倉持会長 | <p>なものが増えていくといいのかなというふうに思っていてまして、その辺をどうお考えなのかということ、すみません、漠然と。</p> <p>いいえ、ありがとうございます。御意見ということでももちろんいいと思うんですけど、何かコメント等あれば、児童館のほうから、職員の方からありますでしょうか。</p> |
| 森主査 | <p>それでは、緑児童館の森です。父親の児童館への参加というのは、以前からありました。今はやはり在宅勤務とかが増えた関係で、子育てひろばでは特に、父親の来館がどの児童館も増えていると思います。緑児童館は平日でも多くて、今まで土曜日は月1回パパとおいでよというのをやっていましたが、最近はおいでよと言わなくてももうかなりの人数が集まっています。日によっては母親より多いときもあります。さらに今、土曜日の子育てひろばは来館者数がちょっと我々も意外なぐらい増えているので、来年度の土曜日は「パパもおいでよ」という事業名を外しました。この日常はしばらく続くだろうと我々は考えています。</p> <p>どの児童館も子育てひろばには父親の参加については目論んで、行事の頭に「お父さん」とか「パパとか」つけていましたが、今は自然に参加して来る傾向にあると考えています。</p> <p>小学生以上に関して、今、学童保育所（以下学保）の名前が出たと思いますが、学保と併設児童館3館では、学保に父親が訪れる姿をよく見かけています。そういった人たちから子どもたちにかかわりたいというようなニーズがあれば、いつでも応えていきたいと思いますが、今のところないというのが現状です。</p> <p>子どもたちが4年生以上になったらどうするのかというのは、我々は常に学保と隣り合わせのところで仕事をしているので、4年生で卒所するしないに関わらず、学保の子どもたちは常に児童館の子どもでもあります。</p> <p>特に、コロナ禍が関係しているのか分からないですけど、今、学保の子どもたちの来館者数がとんでもなく増えていまして、特に土曜日は学保の子どもたちだらけになることもあります。そういう意味では、4年生になったとか関係なく、もう既に児童館と学保を行き来できることに喜んでいるような子どもたちも多いので、学童保育ロスという言葉については、私たちは実感としてはあまり感じていません。</p> |

| | |
|------|--|
| 北村委員 | <p>すいません、学童ロスというのは、お父さんたちが活躍する場が急になくなってしまうということのロスということなので、女性と違って、お父さん同士のコミュニケーションを取りながら、学童がなくなった後も自分たちが活躍する場を自分たちで探るというのが、まだそこまでいっていないのかなという感じで、そういう場所を、逆に児童館側からこういうことを手伝っていただけませんかというような働きかけというのは難しいのかなとか、そうやって思ったんですけれども。</p> |
| 鈴木課長 | <p>児童青少年課長です。多分おっしゃっているのは、うちのほうで捉えると、お父さんボランティアとかということでの何か考えはないのかということだと思んですけれども、基本的にボランティアを募集する際には男女問わずという考え方があるかと思いますので、うちの事業の今やっている中でボランティアを募集している、協力していただけるような方がいるのであれば、それは喜んでお願いするというふうになってくるかと思えます。</p> <p>学童のほうの流れで来ちゃうとちょっと誤解を受けちゃうかもしれないんですけど、うちのほうではボランティアで協力してくれる方がいらっしゃるのであれば、喜んでお願いしたいかなという考えであります。</p> |
| 森主査 | <p>ちなみに、どちらの学童でそういう姿を見受けられますか。</p> |
| 北村委員 | <p>南小学校のほうだったので…</p> |
| 森主査 | <p>みなみ学童保育所ですね。</p> |
| 北村委員 | <p>はい。ただ、私も子ども会の役員もしていますので、その辺からいろんな地域の声というので、直接聞いているわけではないので、そこがどこまでかというのはありますけれども、おっしゃるとおりボランティアというのは別にお父さんじゃなきゃいけない、お母さんじゃなきゃいけないというのはないと思うので、ただ、やっぱり今までお母さんがそういう場で活躍していたというのがありまして、お父さんがそういうところに自分から入るといのはなかなか難しい雰囲気はまだあるのかなというのを感じていまして、働きかけとして、お父さんに積極的に働きかけていただくような形が活性化につながるというか、お互い、お父さんって入っていただくとすごく子どもたちも喜ぶと思うので、そういう力をぜひ活用していただきたいなというふうに。</p> |
| 森主査 | <p>最近、学童の中も父親とか、父親に限らないんですけど、保護者の</p> |

| | |
|------|--|
| 北村委員 | 活躍する場をあまり見ないんです。 |
| 森主査 | そうなんですね。 |
| | はい。児童館併設でないところは見たことがありませんので、良くわからないことも多くありますが、学保の父親たちがキャンプとか父母会行事のために一生懸命になっている姿はどこにでもあったと思います。今はコロナ禍の影響で学保の父母会行事も中止にならざるを得ないと思いますが、昔は良く父親たちが学保の職員のところに来ているのをよく見かけました。中には遊びに来てるのではと思うほど頻繁に来ている人もいましたが、だんだんとそういった姿も見かけなくなりました。なので、最近父親の活動というのはどうなっているのかとも思っていました。 |
| 倉持会長 | すいません、今日はそんなに会議の時間がこれ以上延ばせないのです。これからの児童館の在り方ということでもとても大事な観点をいただけたかなというふうに思います。社会のありようや保護者たちの働き方とか生活の仕方も変わってきていますので、今みたいな御提案は改めて御検討いただければなと思います。 |
| | よろしいですか。 |
| 北村委員 | はい。 |
| 倉持会長 | ありがとうございます。 |
| | 私としてはこのオンライン脱出ゲームの説明をもうちょっといただいてから今日は終わりたいなと思っているので、こちらのほうの説明を少しいただけますか。 |
| 鈴木主任 | 本町児童館の鈴木と申します。コロナウイルスの感染拡大前は、児童館フェスティバルというイベントを行ってしまして、委員の皆様も御来場いただいたこともあるかと思えます。市内の子どもたちを一堂に会して縁日のようなイベントだったり、ステージで各自好きな発表をしたりというイベントを行っておりました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一つの場所に多数の人を集めるということが難しくなってきました。今年度の担当職員で考えた結果、どんなことができるかということで、やはり子どもの意見を生かした事業を継続したいというのが職員の思いの中にありました。活動形式としては、イベント実施の3か月前から子どもスタッフというのを募集しまして、それぞれの館で今流行の脱出ゲームの謎を考えるという会を開いてまいり |

| | |
|------|---|
| | <p>ました。</p> <p>そこで、各児童館ごとに小金井市の公式ホームページを使って問題を解く謎をそれぞれ子どもたちが考えました。市内の子どもたち誰でも、インターネット環境があれば、自宅から参加できるということで密を防いだイベントが来週の月曜日から開始されます。こちらのイベントには、反響が大きくて、問合せも多数あります。たくさん子どもたちに参加していただきたいということで、毎月の児童館のたよりと一緒に本日資料として添付したチラシを市内全児童宛てに渡させていただきました。</p> <p>それぞれスタッフの人数は10人前後だと思いますが、どの館も特徴があって、子どもたちの考えた謎が面白く、職員間もほかの児童館3館の問題は実際答えを知らずに解いてみるという形となっております。なかなか小学生には難しめの、ちょっと大人にヒントをもらうようなイベントが出来上がったと思っております。</p> <p>インターネット環境が自宅にない子どもに関して、自宅からオンラインで参加しづらい子どもに関しては、それぞれ各館に問題冊子を用意していますので、紙媒体で解くことができます。</p> <p>その解く早さによって、児童館で景品を用意していますので、早く解けた子にはいいものが与えられるということで、来週月曜日から開始します。その結果を楽しみに、職員のほうでも児童館で楽しみに待っているという形になっております。</p> <p>以上です。</p> |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございます。なかなか短い期間の中でたくさん、当初とは違う考慮をしながら準備して、子どもたちと一緒につくってということで、オンラインではありましたが、児童館合同行事という形らしいものになったなというふうにお伺いしましたけれども、これ、実際、サイトは誰がどうつくったんですか。</p> |
| 鈴木主任 | <p>本町児童館の鈴木です。実際に小金井市公式ホームページに掲載する作業は職員のほうで行いました。ただ、子どもの字、子どもの作品をそのままスキャンして出したり、子どもスタッフからの、問題を解いてみる、というビデオが流れたりとか、様々な工夫がなされているかと思います。</p> |
| 倉持会長 | <p>ぜひ、委員の皆さんも、誰でもアクセスできるんですよね、これ。</p> |

| | |
|------|----------------------------------|
| 鈴木主任 | できます。 |
| 倉持会長 | ですので、ぜひ、委員の皆さんも、来週から、期間の間にぜひ見て |
| | いただいて、拝見していただければなというふうに思いますが、何か、 |
| | さらに御質問。 |
| | どうぞ、中川委員。 |
| 中川委員 | 中川です。すごくやっぱりこの字を見てから、とても魅力的という |
| | か、子どもたちがすぐに食いつくなという印象を受けました。 |
| | 子どもスタッフの子たちが工夫していろいろつくったんだと思うん |
| | ですけど、それというのは、4館合同で何か打合せみたいなのはせず、 |
| | それぞれの館でつくったものをそこに載せたという形なんでしょう |
| | か。 |
| 鈴木主任 | 本町児童館の鈴木です。おっしゃるとおりで、1つの児童館ごとに |
| | 1ページの問題をつくりましたので、それぞれ4館分の問題を解かな |
| | いとゴールにはたどり着けないという形になっております。一堂に会 |
| | して4館のスタッフが合流したということは、今年度は行っておりま |
| | せん。 |
| 中川委員 | なるほど。すいません、あと、これは参加の子たちが小学生から高 |
| | 校生世代というとすごく幅広くなっちゃうんですね。問題を解くと |
| | いうのは、低学年はやっぱり難しいですか、内容は。 |
| 鈴木主任 | 本町児童館の鈴木です。低学年には、おっしゃるとおり難しいです。 |
| | ただ、問題のページにヒントが出ていますし、児童館の開館時間中は |
| | お電話いただければ職員のほうでヒントを伝えることができるかと思 |
| | うので、あとは、保護者の方と協力して解いていただければと思って |
| | おります。 |
| 中川委員 | そのヒントは高学年でも教えていただけるんですか。 |
| 鈴木主任 | ホームページ自体に出ているヒントは誰でもクリックすれば出てく |
| | るものなので見ることはできます。なので、高学年がヒントを見ると |
| | 簡単になってしまうかもしれないですけど、ただ、小学生から高校生 |
| | までというゲームバランスはなかなか難しいのでヒントは必要かと思 |
| | います。どうしても分からなければ職員に相談していただければと思 |
| | います。 |
| 中川委員 | はい。じゃ、あと最後にもう一つ、景品を50人、頂けると言った |
| | んですけど、それは全館4館とも同じものですか。 |

| | |
|------|---|
| 鈴木主任 | もちろんです、はい。4館全て同じ景品、先着5人の特別賞も同じものとなっております。 |
| 中川委員 | 同じものなんですね。 |
| 森主査 | あまり言わないでくださいね。 |
| 中川委員 | え、でもまだものは聞いていないので、何というのとは。 |
| 森主査 | 同じものとかになっている、秘密にしておいてください。 |
| 中川委員 | 同じ、あ、そこですね。はい、分かりました。ありがとうございます。 |
| 倉持会長 | <p>ありがとうございます。なかなか一堂に会してとか、そういうことはやらずに、しかし、小金井市の公民館としての共通性を出しつつという、すごくその辺も大変だったろうと思うんですけども、新しいチャレンジとして、また、やった後の反応なんかも、子どもたちの反応なんかもぜひ聞いていただいて、次の来年度に生かしていただきたいというふうに思います。</p> <p>ちょっと難しいぐらいのほうをやっぱり子どもたちは楽しいでしょうから、子どもたちの話題にもなるのかななんて思います。ありがとうございます。</p> <p>大分時間がたってしまいましたけれども、そのほか、これはぜひということが何かある委員さんはいらっしゃいますでしょうか。</p> |
| 森主査 | すいません、よろしいですか、一言だけ。 |
| 倉持会長 | はい。 |
| 森主査 | <p>小金井市の子どもの権利に関する条例が10周年を迎えたということで、平成31年度にイベントを行わせていただいたということは一つの契機になりました。子どもたちの意見を吸い上げていくこと、子どもたちと一緒に行事を作っていくことは、これまでもそうでしたが今後も課題はありますが、大きな目標です。</p> <p>ただ、その直後に世の中が新型コロナウイルス感染拡大防止一色になってしまったということで、いろいろ予定していたものができなかったりしましたが、このインターネットを活用していくやり方というのは、今後の児童館の行事のやり方の一つというか、選択肢の中の一つです。</p> <p>12月に中・高校生世代のボランティアを集めて、オンラインで会</p> |

| | |
|------|---|
| 倉持会長 | <p>議を試験的に行ってみました。その試みも今後のための契機になりました。コロナに関係なく、子どもたちと共に考えていくということについて、行事を1回やればよいということではなく、それをきっかけにまた新しいことを考えていくことが大事だと認識していただければと思います。</p> <p>ありがとうございました。もともとは、フェスティバルはなかなか同じ形ではできないということで、コンセプト、理念そのものは今お知らせいただいたような部分のところであって、しかし、方法、やり方、どういうふうにつくり上げていくかというのはこれからの新しいテーマ、課題になっていくのかなというふうに思います。ありがとうございました。</p> |
| 前田係長 | <p>それでは、以上で、事務局、何か連絡ありますか、大丈夫ですか。</p> <p>事務局の前田です。皆さんの任期についての御案内になります。令和元年7月1日からお務めいただきまして、任期としては今年令和3年の6月30日までという形になります。審議会の予定としては、今回がこのメンバーで集まる最後の会議として予定をしております、次回は改選後、7月に新しい委員で開きたいと思っております。</p> <p>その関係で、市民委員の公募につきましてのお知らせを4月1日号の市報とホームページに掲載させていただきますので、ほかの審議会2つ以上は駄目とか、3期以上は駄目とか、そういったところはあるんですが、御興味のある方はそのまま引き続きお願いできればと思っております。来年度引き続きやっていただける方はまたお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p> |
| 倉持会長 | <p>事務局からは以上です。</p> <p>ありがとうございました。ということで、この会議メンバー、委員の皆さんでお会いするのは今年度2回目の会議でしたけれども、本日で最後ということで、皆様、お世話になりました。ありがとうございました。引き続き、小金井市の児童館活動についての見守りというか、御協力をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、これで令和2年度第2回小金井市児童館運営審議会を終了したいと思います。ありがとうございました。</p> |

